



令和5年8月28日
垂井町立岩手こども園

毎日、とても暑いですが、子どもたちは元気いっぱいです。園庭ではセミが鳴いていたり、バッタが草の中を跳んだりしています。子どもたちは、『どこにいるかな?』と木をじっと見つめてセミを探したり、網を持ってバッタを追いかけていたりしています。最近、トンボの姿が多く見られるようになり、秋の気配も感じられるようになってきました。子どもたちと園庭で遊んだり、散歩に出掛けたりしながら、体を思いきり動かし、秋の訪れを感じていきたいと思えます。

風鈴を作ったよ!



4、5歳児は画用紙の上に落とした絵の具をストローで吹いて、模様を作りました。絵の具が広がっていく様子に「こっちまで来たよ」「もっと吹こう」とストローで吹く向きを変えながら、いろいろな模様を作っていました。2、3歳児は『どの色にしようかな』といろいろな形や色のセロハンをペットボトルに貼り、素敵な模様のペットボトルができました。この2つを組み合わせると風鈴が完成!子どもたちが作った風鈴は、まちづくりセンターで歌を聴いたり一緒に踊ったりして下さる地域の方々へのプレゼントです。「わあー!見せて、見せて」「かわいい!」「素敵だね」の温かいお言葉と笑顔に、子どもたちは嬉しくて照れていました。

作って遊ぼう～何ができるかな?～

スライム



小麦粉粘土



スライムや小麦粉粘土を作って遊びました。4、5歳児はカップに示してある線を見ながら、水や洗濯糊を入れて準備をしました。『あと少し』『もう入ったかな?』と真剣な表情でカップを見ながら入れていく姿、輝いていました。スライム作りでは割り箸で混ぜると...「見て、固まった」と固まっていく様子や、びよ～んと伸びるスライムにびっくり!! また、小麦粉粘土ではサラサラだった粉が変身! ちぎったり丸めたりして遊びながら、「いい匂いがする」と子どもたち。サラサラやヌルヌル等の感触を味わったり、スライムや小麦粉粘土ができあがった嬉しさを感じたりしながら遊ぶことができました。